

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。所沢市長の小野塚勝俊でございます。昨年、所沢市では、「人間国宝」となられた（所沢市民として初、埼玉県内で3人目）尺八演奏家・善養寺恵介さんに「所沢市名誉市民」の称号をお贈りいたしました。

また、パラリンピック、デフリンピックで「金メダル」を獲得された4選手、1チームの方々に、新たに創設した「所沢市民栄誉賞」を贈呈いたしました。この方々のほかに、多くの市民の皆さまが、ご自身の可能性を大きく広げていらっしゃいます。

現在、所沢市は、2030年4月の「中核市」移行に向け、昨年2月に「中核市移行に関する基本方針」、11月に「所沢市保健所設置基本計画」を策定し、埼玉県への協力要請も行い、さまざまなことを進めています。

所沢市は、あれもこれもあるまちです。所沢市は、市民の皆さまにとって、もっと暮らしやすいまちへ「可能性が広がるまち日本一」を目指してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

所沢市長

小野塚 勝俊



脈々と受け継がれてきたずっと変わらない所沢の魅力。近所の神社のお祭りやお寺の行事で聞こえてくるにぎやかな音色やかけ声、心踊る舞。お正月に行った神社でお囃子を聞いた方も多いのでは。新年を飾る本号では、身近にあるけど意外と知らない所沢の伝統芸能をお伝えします。
文化財保護課 ☎ 2991-0308

ところざわの伝統芸能

人々が日常生活の中で生み出し、継承してきた有形・無形の伝承で人々の生活の移り変わりを示す民俗文化財。

民俗芸能はその分野のひとつで、お祭りなどで人々が演じる歌や舞、踊り、演劇などのことを言います。歴史の古い民俗芸能は「伝統芸能」とも呼ばれています。

市は、昭和44年に「岩崎彫獅子舞」と「重松流祭ばやし」の2つの伝統芸能を無形民俗文化財に指定しました。保存会や各囃子連の方々によって今も受け継がれています。

市内に伝わる祭囃子の多くは重松流ですが、このほか、神田流、鈴木流などの流派もあります。



▲岩崎彫獅子舞



▲重松流祭ばやし

2つの伝統芸能の歴史と見どころ！

市指定無形民俗文化財の、岩崎彫獅子舞と重松流祭ばやし。2つの伝統芸能の歴史や見どころを紹介します。

3頭の獅子が豪快に舞い踊る！

岩崎彫獅子舞



歴史 岩崎村（現山口地区）の地頭（旗本）宇佐美助右衛門長元が、大坂冬の陣の帰途、京都で3頭の獅子頭を買い求め、獅子舞の師匠を伴い凱旋し、村の若者に稽古をさせたのが始まりと伝わる。瑞岩寺には、宇佐美氏の墓塔が遺る。

見どころ

どの舞にも解説があるので、初めて観る方も理解しながら楽しめます。繊細な青竹と縄で作られた神聖な舞場で豪快に舞う獅子は神々しく、龍を模した龍頭を使っている珍しい獅子舞は必見！

即興で生み出される軽快なリズム

重松流祭ばやし



歴史

所沢で生まれた古谷重松が編み出したお囃子の流派。幕末～明治期以降、行商のために訪れた各地でお囃子を伝授し、所沢から多摩地域にかけて広まった。決まった譜を持たず、技を口頭で伝える「口伝」で今日まで継承されている。

見どころ

山車の上でのスピード感あふれる「ケンカ囃子」の中で、小太鼓2つの即興的な掛け合いは、まさに息の合った奏者のなせる技。おかめや獅子、天狐など、次々と変わる踊りの豊富さにも注目！